



2020年度 基礎研修実施模様

研修部



2020年度は新型コロナウイルスの影響で約3カ月間休止していた研修をやっと7月から開始しました。基礎研修については、例年春から実施していますが今年は夏から秋にかけて取り組んでいます。

基礎研修の受講状況は、東日本研修センタにおいて線路科10名、土木科60名、所内科150名、電力科60名、所内・所外統合科約60名、西日本研修センタにおける所内科40名の合計380名です。研修休止期間中に自社対応に変更した会社があったため、例年より少なくなっています。

1. 基礎研修の概要

基礎研修は通信設備建設における基礎知識および安全の基本を学び、



写真1 毎朝検温



写真2 検温モニター（西日本研修センタ）

情報通信エンジニアとしてのキャリア形成の初期段階に必要な知識、技能を習得することを目的としています。

各コースとも技術・方式はもとより、建設工事の基礎がポイントとなります。そこではNTT様の工事規格や事例をベースに、座学と実習を通じて用語の理解、技術や方式の基礎などを学びます。

安全については基本動作の知識・実践と作業に伴う危険への気づきが基本です。KYT、事故事例学習、危険体感等を取り入れるとともに、カリキュラムの要所要所に作業に潜む危険ポイントを織り込むなど、何事も安全が最優先であることの意識づけを行います。

残念ながら、今年は新型コロナウイルスの影響で実習課題等を変更、省略している部分が発生しているとともに、全員参加の安全朝礼も取り止めています。また、食堂の利用制限、寮（東日本研修センタ）の利用休止等による不便さや、オフタイムを通じたコミュニケーションが取りにくいなど、窮屈さを多く感じる研修とせざるをえませんでした。

2. 東日本研修センタにおける基礎研修

①基礎研修線路科

基礎研修線路科の主なカリキュラムは、アクセス設備の概要、ケーブル・電柱等の通信線路およびその先の宅内設備の建設知識、実習では光・メタルの心線接続とクロージャを使ったケーブル接続、お客様宅へ



写真3 来所時の手指アルコール消毒

の模擬開通工事、パソコン・インターネット設定等です。例年グループで作業する課題が多いのですが、今年は感染防止の観点からメニューを減らし極力個人ごとに実施する内容に変更しています。

また、安全メニューとして安全の基本に関する座学と危険体感、また線路系技術者には必須のフルハーネス型墜落制止用器具特別教育等が組まれています。

②基礎研修土木科

基礎研修土木科は、座学において通信土木設備の概要および土木全般の建設技術の基礎知識、そしてマンホール・ハンドホール・管路設備個々の建設技術、各図面・設備記録などのポイントについて学習します。実習としては土留め設備等を一新し、本研修の醍醐味であるマンホールや管路建設を予定していましたが、感染防止のため今年では自社でのOJT等で代替していただくこととし、研修センタでは地盤支持力測定等の簡易なものに絞らざるを得ませんでした。

安全メニューとしては、安全作業手順書等を活用した土木建設におけ



写真4 動線の明示



写真5 食堂入室時の手指消毒



写真6 離隔、換気を維持した食事風景



写真7 基礎研修開講式



写真8 安全特別講話

る安全基礎やKYTの基本、そしてフルハーネスの特別教育を実施します。

③基礎研修所内科

基礎研修所内科は、座学を中心に信号処理のベースとなるデジタル通信技術、伝送・交換方式についての建設技術や工事概要、また今や主流となったTCP/IP技術とIP通信方式等を学びます。実習ではルータ設定を中心にIP通信の基本を確認する機会としています。

また、スマホ等モバイル通信に必須の無線については電波の性質、種類、変調方式などの基礎と、方式としては固定無線と合わせて移動無線の内容を多く取り入れています。

安全面に関しては、二重床工事やラック工事、脚立利用時等におけるリスクや基本動作について習得します。

④基礎研修電力科

基礎研修電力科は、まずは通信設備の概要を学びながら電力設備の位置付けを理解することから始まり、

通信用電力技術および工事の概要を座学にて習得します。また、電力科の特徴として、労働安全衛生規則に規定されている高圧・特別高圧電気取扱者法定教育の学科カリキュラムを組み入れています。

実習では電力ケーブルの配線工事や養生の基礎、ラックへの取り付け、電圧・極性等の測定器を使った各種試験等を実施します。

⑤基礎研修統合科

基礎研修線路科と基礎研修所内科を合わせた内容です。

3. 西日本研修センターにおける基礎研修

西日本研修センターにおいては、基礎研修所内科を2コース実施しました。

東日本研修センターと同様、通信建設会社として必要なネットワーク通信設備の建設、保守に関する基礎的な知識や技能を習得する内容としています。

今年には新型コロナウイルスの影響



写真9 離隔確保のための2教室分散の映像側授業

でNTT施設見学等が実施できませんでしたが、安全に関する特別講話を追加するなど人身事故・設備事故防止のためのカリキュラムを充実しました。また、技術的なことだけでなく企業や社会人として必要な責任、心構えについての意識付けも重視しています。

4. おわりに

一度終息に向かうように見えた新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加し始めました。7月下旬の段階では国・自治体から明確な宣言・制限は出ていませんが、より安全な



写真10 安全研修風景



写真11 実習風景

環境で受講できるよう東西研修センターとも遠隔研修の検討を始めました。安全研修や技術研修は実習による実践的知識習得を重視しているものが多く、遠隔研修とする場合の代替手段に頭を悩ませています。一方で次につながる価値あるチャレンジと捉え、積極的に進めていく方針であり、別途みなさまにご紹介する機会を設ける予定です。

